

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地理歴史	日本史探究	3	2	文系NP	9

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	図説日本史通覧（帝国書院）
			時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）

科目の目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>
-------	--

科目の概要	<p>日本史における原始・古代から中世・近世初期の時代を扱う。日本の歴史を政治や経済、社会や文化などさまざまな面から捉え、時代の特徴や、人びとの生き方および人びとの作る社会の特徴について理解を深める。その際に、国際社会のなかの日本、特に東アジア世界の中の日本という視点を持ちながら、日本に生きる人びとの歴史を考察する。</p>
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①知力・学力	②課題対応力, ③論理的思考力, ④原因分析力, ⑤傾聴力, ⑥受信・発信力, ⑦協働力	⑧行動力, ⑨自己管理能力, ⑩自己実現力
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・レポート課題 ・グループワークなどの中で、自ら課題を見つけ問いを立てる力や、話し合っ課題を解決する力を、議論の様子から評価	・授業内での活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成や、日本列島における農耕社会や国家の形成につながるような社会構造の変化について考察し、原始社会の特色を理解する。また、国家の形成と古墳文化について、中国大陸や朝鮮半島との関係に着目して考察し、自らの意見を表現する。
	第3章 律令国家の形成 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現する。また、平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解する。さらに、東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解する。
2 学 期	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現する。また、国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現する。
	第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 <1> 室町幕府の成立 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現する。また、公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。さらに、鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解する。
3 学 期	第7章 武家社会の成長 <2> 幕府の衰退と庶民の台頭 <3> 室町文化 <4> 戦国大名の登場 第8章 近世の幕開け 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究する。また、守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解する。さらに、時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。